



市長 伊藤康志

宮城県

お お さ き し

大崎市

宝の都（くに）・大崎

—ずっとおおさき・いつかはおおさき—

【データ】

※平成28年4月1日現在

- ・人口：133,552人
- ・世帯数：50,329世帯
- ・面積：796.76 km²



市章

●大崎市の紹介

大崎市は、平成18年3月31日に古川市、松山町、三本木町、鹿島台町、岩出山町、鳴子町、田尻町の1市6町が合併し誕生しました。

宮城県の北西部に位置し、東は遠田郡と登米市、西は山形県と秋田県、南は黒川郡と加美郡、北は栗原市に接しています。東西に約80kmの長さを持ち、奥羽山脈から江合川と鳴瀬川の豊かな流れによって形成された、広大で肥沃な平野「大崎耕土」を有する四季折々の食材と天然資源に恵まれており、大崎市と周辺4町を一つのエリアとして世界農業遺産の認定に向けて申請を行います。

大崎市は、「ササニシキ」や「ひとめぼれ」などの米どころとして知られていますが、新たに誕生したササニシキ系の「ささ結」があります。鳴子温泉地域には開湯千有余年の鳴子温泉郷と四季折々の美しい渓谷美が楽しめる鳴子峡、岩出山地域には国の史跡名勝指定を受けている岩出山伊達家の家臣子弟の学問所であった旧有備館及び庭園があります。東部の田尻地域には、国内でも貴重な自然環境が残るラムサール条約湿地に登録された蕪栗沼があり、冬には天然記念物のマガンやオオヒシクイなどが飛び立つ姿を見ることが出来ます。

今年度は、大崎市が誕生してから10周年の節目の年を迎え、「協働による おおさきの飛翔」をテーマに10周年記念事業を行います。市の花・市の木・市の鳥や市民歌を市民の皆さんの公募により選定します。また、記念映像の作成や特別番組の作成、ご当地ナンバープレート導入など市民の皆さんと協働で行う準備を進めています。



●大崎市の取り組み

「大崎市健康増進計画～大崎生き生き健康プラン～」について、健康の維持や増進などに関する市民の関心の高まりや、それらを支える保健や医療、福祉に対する要望や期待も大きくなっている状況にあります。

計画の策定から5年が経過し、計画推進の経過と現状を把握するため、市民健康調査やアンケート等を実施し、調査結果を踏まえて平成26年度に計画の見直しを行い、後期計画を策定しました。計画の目的である「市民の生活の質の向上」を実現するため市民、関係機関・団体、市の各々が掲げた健康づくりのアクションプラン並びに実施事業について、進行管理及び評価を実施しながらそれぞれが連携し、より一層計画の推進を図っています。

母子保健計画では、数値目標の中間評価と計画の見直しを行いました。妊娠期、乳幼児期から生涯にわたり親子の健康の確保と増進を図ります。

歯の健康については、幼児期からの歯と口腔の健康づくりの必要性を保護者に啓発するとともに、むし歯を効果的に減少させるために、公立保育所に通う4歳児及び5歳児のうち、保護者が希望する園児を対象にフッ化物洗口導入モデル事業を実施しています。

健康づくりは、市民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という自覚を持ち、健康の維持・増進をして、住み慣れた地域で安心して生活できるよう地域が一体となって社会環境整備を進めています。今後も個人や団体、行政との協働により、いつまでも元気で長生きして健康寿命を延伸してするよう取り組みを進めていきます。

●地域との活動について

健康づくり普及事業として、毎年「健康と福祉のつどい」を開催しています。健康増進計画の分野の一つをテーマに、市内の健康づくり団体や福祉団体、多くの市民等が参加し、おのおの活動報告や展示・発表、健康づくりに関する正しい知識の普及に努めています。

保健推進員の活動として、地域の問題を市と共有し、地域の事情に合わせた健康づくりの活動をともに企画して、健康な地域づくりを推進する担い手を養成しています。

また、食生活改善推進員の活動としては、市と協働で家庭や地域において、生涯を通じての食育を推進して食生活の改善普及等を目的として、地域で食を通して健康づくりを推進するボランティアを養成しています。

宮城県大崎市民生部健康推進課

Tel 0229-23-5311

Fax 0229-23-9880

E-mail:kenko@city.osaki.miyagi.jp